

3.5 「電子納品資料を活用した図面データ等の共有による業務改善」

3.5.1 はじめに

3.5.1.1 目的

平成7年以来、CALS/ECが推進されてきたが、電子納品が単なる報告書や図面等のペーパーレス化に止まっており、本研究は、電子納品資料を用いて直轄事務所における業務の改善について研究し、CALS/ECの推進が身近なものとしてより浸透されることを目的としている。

本研究では、姫路河川国道事務所工務第二課における電子納品成果された図面データを活用した業務改善について研究した（図3-43）。

3.5.1.2 これまでの検討

- 平成14年度
 - ・電子納品利活用の課題検討
 - ・図面等の電子化
- 平成15年度
 - ・図面情報共有化の実践、効果の検討

3.5.2 電子化された図面データ等の内容、利活用の体系

電子化された図面データ等、利活用の体系は、下記のとおりで、データは、事務所共有ファイルに保存し、活用を図っている（図3-44）。

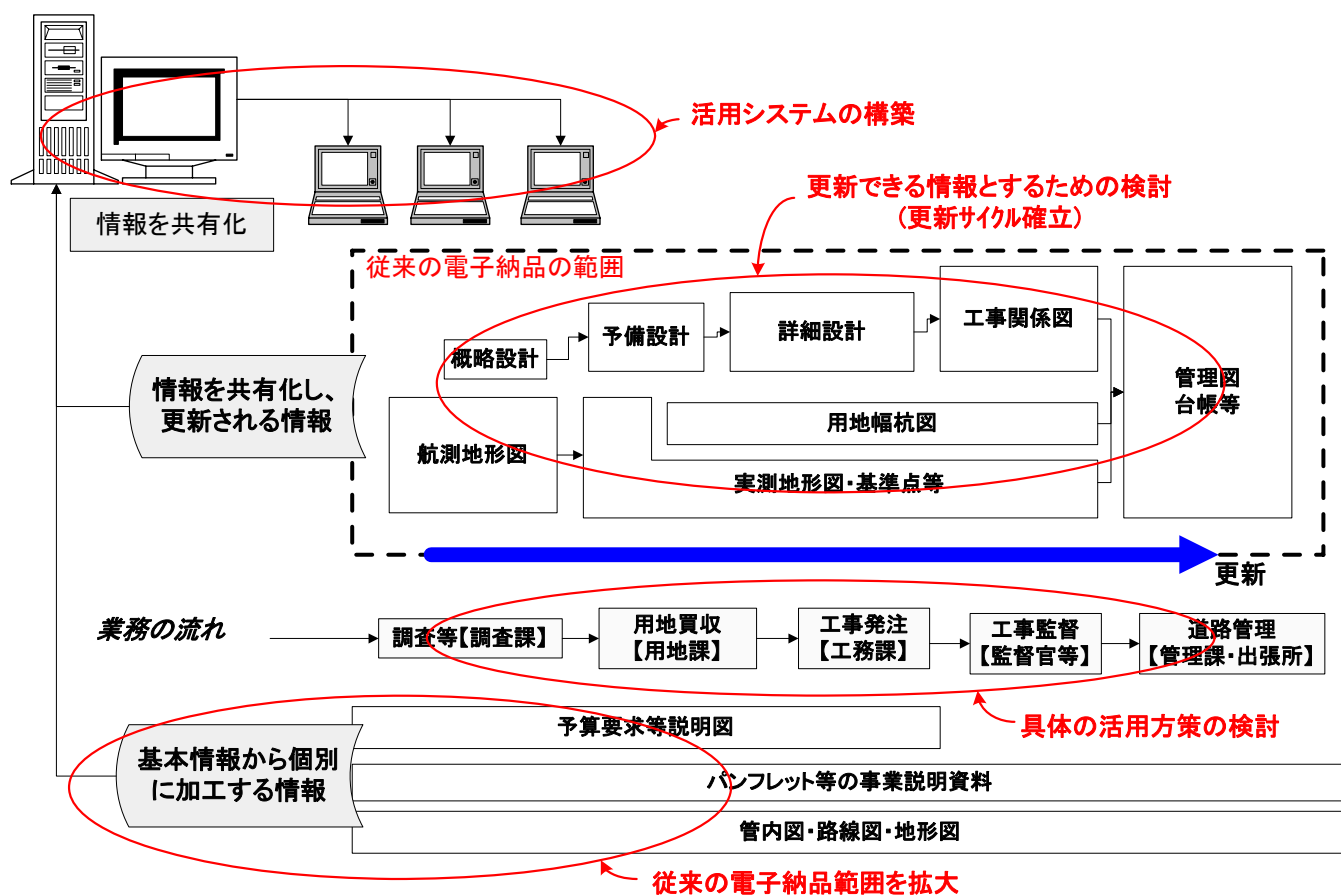


図3-43 業務改善の範囲

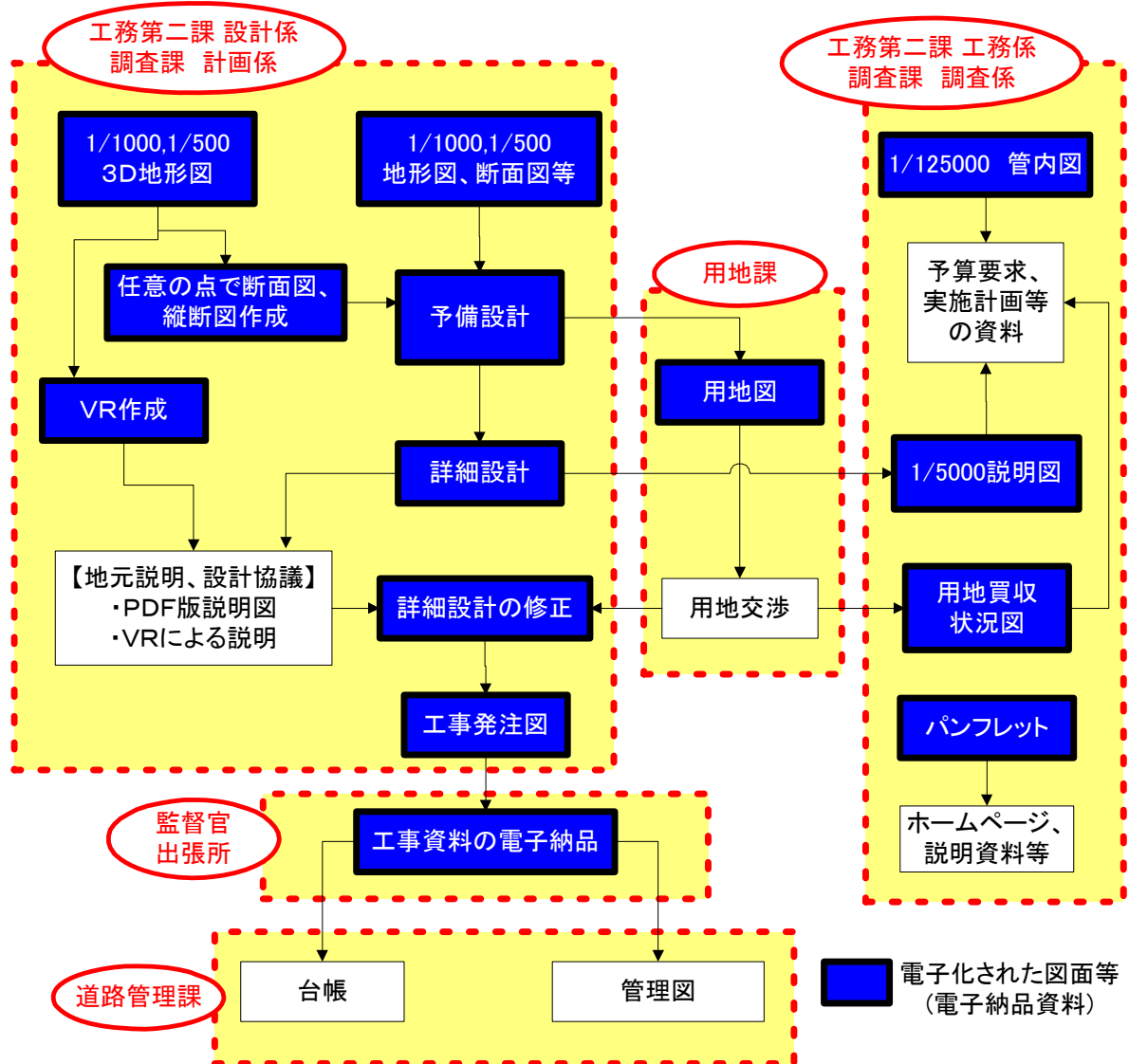


図 3-44 業務の流れと電子データの内容、事務所組織の体系